

大阪体育学会第53回大会 シンポジウム

## 東京都中学・高校選手育成に向けた大学連携による医・科学サポート事業

Sports medicine and science support project for the enhancement of athletic performance in Tokyo junior and senior high school top athletes through coordination with sport-centered universities.

船渡 和男\*

Kazuo Funato

齋藤 それでは、最初のシンポジスト、船渡先生のご紹介をしたいと思います。船渡先生は東京都のアスリートサポート事業ということで、中学校、高校生の選手の育成に向けた大学連携による医・科学サポート事業を手掛けておられます。これまで、JISSの設立にあたって選手の育成の現場に携わってこられた経験を踏まえて、最初は大学連携の数も3大学だったそうですが、今は5大学に増えていると聞いております。それでは船渡先生、よろしく願いいたします。

船渡 ありがとうございます。日本体育大学の船渡です。よろしく願いいたします。私のテーマは、「東京都中学・高校の選手育成に向けた大学連携による医・科学サポート事業」ということで、齋藤先生からシンポジウムをやるので、ぜひ東京でやっていることを紹介して、大阪にも刺激を与えていただきたいと思いますという依頼を受けました。私たちが今までやってきたこと、これからやろうとしていることを紹介させていただきます。

本日のお話の内容を3つにまとめました。今までやってきた「東京都における大学連携事業の位置付け」、「大学が行う医・科学サポ

ートの事業内容」についてご紹介させていただいて、最後に、「大学における連携（社会貢献）と研究との関係」という内容で、今日はお話をさせていただきたいと思います。

### 1. 東京都における大学連携事業の位置付け

まず、大学連携事業の位置付けということですけれども、これは東京都の政策的なビジョン、基本理念というのがありまして（スライド1）、「スポーツの力をすべての人に」ということで、平成25年3月に東京都スポーツ推進計画の中でうたわれています。この中で、「誰もが多様なスポーツをエンジョイし、一人ひとりが輝く都市」とあるのですが、2番目の「世界を目指してチャレンジするアスリートを通じて、夢と感動を享受できる都市」ということで、「世界を目指すアスリートが集うまち」、「トップアスリートがジュニアを育てるまち」というような呼び掛けになっています。そして、さらに細かな5つの戦略の中で（スライド2）、戦略4として「世界を目指すアスリートの育成」ということで、新たな才能の発掘・育成、中学生を対象に優れた運動能力を有するジュニア選手を選考し、高校からでもトップを目指せる競技において、集中的に育成強化する。対象スポーツ種

---

\* 日本体育大学